

**矢野 薫 (Kaoru Yano)**

リサーチ&amp;アドバイザリ部門

IT インフラストラクチャ&amp;セキュリティ

セキュリティ担当

シニア プリンシパル

アナリスト

**お客様へ**

テクノロジーの進化は企業に大きな変革をもたらすと同時に、新たなセキュリティの脅威を生み出しており、これが企業経営にも影響を及ぼす時代になりました。従来、企業におけるセキュリティの主たる関心は企業内ネットワークにある重要資産の保護にありましたが、近年、クラウド/モバイルの利用拡大やデジタル化により IT インフラ環境が大きく変化し、情報資産の保護の在り方も根本的に見直すべきときが来ています。もはや情報セキュリティの枠組みは、単に企業の重要資産を守ることにとどまらず、ビジネスあるいは企業価値そのものを守り、向上させることにまで拡大しています。そして、こういった命題に対して、セキュリティのリーダーの役割と責任は、かつてないほど広く、かつ大きく重要なものとなっています。

私は、セキュリティを「リスク」と「テクノロジー」の視点からどのように捉えるべきかを分析し、実践的な施策を提言いたします。

**担当分野**

インサイダー脅威への対策 (Insider Threat)

セキュリティ・ガバナンスとリスク管理 (Governance, Risk and Compliance/Integrated Risk Management)

アイデンティティ・アクセス管理 (Identity and Access Management)

SaaS 利用時のセキュリティ (クラウドとモバイル)

セキュリティ・オペレーションとモニタリング (SOC/CSIRT/セキュリティ運用、SIEM)

セキュリティ教育

金融機関におけるセキュリティ・トレンド分析

**関連キーワード**

情報セキュリティ、サイバーセキュリティ、インサイダー脅威、セキュリティ・ガバナンス、GRC、セキュリティ・リスク管理、アイデンティティ/アクセス管理 (IAM)、セキュリティ・オペレーション・センター (SOC)、CSIRT (シーサート)、セキュリティ情報/イベント管理 (SIEM)、セキュリティ教育

**実績**

## &lt;レポート&gt;

- ー日本におけるセキュリティとリスク・マネジメント分野の研究概要:2019年
- ー働き方改革のセキュリティ:パート1「どのようなセキュリティ・リスクが潜んでいるのか」
- ー働き方改革のセキュリティ:パート2「クラウド・サービスを利用する際のセキュリティ」
- ー働き方改革のセキュリティ:パート3「モバイル・デバイスを利用する際のセキュリティ」
- ーセキュリティ・インシデントへの対応について CIO/CISO が理解すべき4つの事項
- ー災いは忘れるからやって来る:形骸化するリスク管理

## &lt;講演・プレゼンテーション&gt;

- ー働き方改革のセキュリティ・リスクとその処方箋
- ークラウド・セキュリティに関するよくある誤解
- ー新たな時代を迎えたアイデンティティ/アクセス管理:いま見直すべき3つのポイント

**略歴**

ガートナー ジャパンにおいて、セキュリティ領域における市場動向の分析と提言を行っている。

ガートナー ジャパン入社以前は、外資系セキュリティ・ベンダーにおいてデータ保護、アイデンティティ/アクセス管理、セキュリティ・モニタリング、セキュリティ・ガバナンスとリスク管理等のプリセールスを担当した後、外資系コンサルティング・ファームにおいて、セキュリティ・ガバナンスの基本構想策定や、サイバーセキュリティ・アーキテクチャのグランド・デザイン策定等のプロジェクトに従事。